

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.12
H26.10.22

秋の深まりを感じます・・・(モズ・キンモクセイ)

朝夕はとても涼しくなりました。秋が早足でやってきたような日々が続きます。

熟した木や草の実、色づき始めた木の葉、聞こえてくる鳥のさえずり……。秋が徐々に深まってきているのを感じます。学校で最近聞こえるようになったのが、「キーンキーンキーン」という甲高い鳴き声です。「モズの高鳴き」と言われます。モズは、大抵は木の枝の先や高いところでさえずっています。スズメくらいの体ですが、声はとてもよく響きます。多くの鳥は、春から夏にかけてさえずるようですが、秋にさえずる鳥ですので、俳句の秋の「季語」にもなっています。

キンモクセイも秋を感じさせてくれます。今年一度、9月下旬に香っていましたが、数日で香りがしてこなくなりました。「今年はこのようにあっさり終わるのかな」と思っていたら、先週あたりから一度目よりもよく香りが漂ってきます。「2度咲き」と言われる現象のようです。これは、気温の変化が影響しているらしいです。



東門の横にあるキンモクセイ

力をつける！

ひとつひとつの活動や体験を通じて可能性を拓く

10月・11月は、1年間の中でも大きな行事や活動、体験に取り組む「充実」の時期です。子どもたちが「初めて知ることや経験すること」を通じて、興味・関心を広げたり、自分のできることを増やしたりして可能性を伸ばしてくれることを願って取組を進めています。

10月上旬・中旬の活動を紹介します。

三泗小学校陸上記録会



10月14日(火)、台風第19号が足早に日本列島を駆け抜け、青空の下、日永の中央緑地公園陸上競技場で、三泗地区の小学校が午前午後と2部に分かれて、記録会が行われました。6年生が全員競技場へ行って代表になった種目に出場したり、スタンドで声援したりしました。

全天候型の本格的な競技場で走った子ども、跳躍をした子ども、ボールを投げた子ども、「とっても走りやすい。」「もう一回走りたい。」「隣の子がすごく早かった。」「あんなに跳ぶ子がいるなんて・・・」などなど、感想を口々に交わしていました。自分として力いっぱい挑戦した記録がどれだけか確かめられたり、学校だけでは感じられないことを体験できた

りなど、貴重な機会になったものと思います。



自然教室



10月15日(水)・16日(木)に、5年生の自然教室を行いました。山の朝夕は肌寒さを感じるものの、さわやかな秋の日和の中での活動でした。1日目の午前、四日市スポーツランドでアスレチックコースに挑戦しました。28種類の木製遊具が連なる全長1.2kmのかなり上り下りの大きなコースを、子どもたちの中には2周以上もする子もいました。午後からは水沢の「四日市市少年自然の家」で野

外炊事、キャンプファイヤー、2日目はカヤック体験。どれもが初めての体験でしたが、子どもたちは生き生きと充実した活動をする事ができたと思います。カヤック（2人乗り）は、カイツブリの鳴き声が響き、緑に包まれた山の中の池での体験でした。子どもたちは教えられたパドル（^{かい}櫂）の扱いを実際にやりながら、時間がたつにつれ、前進したり後進したり、左右に曲がったりと2人が協力して楽しそうでした。きっと、たくさんの思い出ができた自然教室になったことでしょう。



防火教室

4年生は、社会科の「さい害からくらしを守る・・・火事をふせぐ」の学習で中消防署の方々（6名）にお世話になって防火教室を行いました。火事の原因や四日市市でおこった火事の件数の話、消防車の説明をうかがったり、煙体験や水消火器による体験をしたりなど、熱心に取り組むことができました。

子どもたちは、消防署の方に「消防車のホースはどれくらいの重さがありますか。」「四日市の消防署には何人の人が働いていますか。」「どうして消防士になったのですか。」「女の消防士さんはいますか。」などなど、たくさんの質問をしていました。学習への意欲の高さを感じ、とてもうれしく思いました。疑問から関心が高くなったり、深くなったりして、学習がより一層充実することを期待します。



失敗から学べる力と態度を！

学習や活動の中で、きっと「うまくいかなかった」「失敗した」と思うことがあるものと思います。実際には「成功」より「失敗」の方が多いのではないでしょうか。

よく「失敗から学ぶ」と言います。「失敗は成功のもと」とも言います。失敗を失敗のままに終わらせては、成長は望めません。

失敗したことをしっかり見つめて、何をどう変えていったり、改めていったりするのかを考え、やってみることが大切です。失敗したことで「自分はたくさんのことが学べた」「大切なことが学べた」と実感できるようにすることが大切だと思います。失敗の問題を突き止め、変えようとしないう限り、失敗から学んだとは言えません。

子どもがうまくいなくてへこんでいたり、失敗してがっかりしていたら、「がんばれ」と励ますとともに、「何をどう変えるのか」具体的なことを考えるよう背中を押したり、相談してください。子どもの代わりにやるのではなく、あくまで支援することで「失敗から学ぶ力と姿勢」を少しずつでも高めることが、子どもたちの将来を生きる力につながるものと思います。

見守りありがとうございます

10月16日（木）の下校時に四日市南警察署、四日市橋交番、ニコニコ共和国等のみなさんが地域防犯活動の一環として、子どもの見守り活動をしていただきました。子どもたちに「いかのおすし」の話をしていただくとともに、通学路に立っていただいたり、青色パトロール車で巡回していただいたりしました。青色パトロールは、この日だけでなく、日頃も下校時の見守りをしていただいています。

地域のみなさまにも子どもの下校時に、家の前などでの見守りをお願いしているところですが、多くの「目」が防犯につながります。今後ともよろしくお願いします。

